土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道　375号　道路災害防除事業に伴う測量調査設計業務委託（単独）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Boring No.5	調査位置	広島県三次市作木町			北緯	34° 53’ 07.0903″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和5年 8月22日～ 令和5年 8月24日	東経	132° 40’ 56.9978″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 108.65m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D1B-58
総削孔長	9.00m								エンジン	ヤンマーTF120V-E	ポンプ	東邦BG-3B

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	107.65	1.00		礫混じり砂		灰褐			地表面からGL-0.40mまで舗装 砂は中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～40%混入する		0 10 20 30 40 50 60		1.90	4	5	4	13/300							
	106.95	1.70		玉石・礫混じり砂		淡褐灰			径10cm程度の玉石が混在する 径5cm以下の礫を30～50%混入する			13	2.20											
2				粘土混じり礫混じり砂		灰褐	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を30～40%混入する 細粒土分を10～20%含有する				3.15	1	1	1	3/300							
3							rd1		部分的に礫の混入量が増加し砂礫状を呈す			3	3.45											
4	104.30	4.35							全漏水				4.15	6	2	3	11/300							
5	103.00	5.65		礫混じり粘土質砂		暗褐	rd3 rd2		砂は中～粗砂を主体とする 径3cm以下の礫を20～40%混入する 細粒土分を20～30%含有する			11	4.45 5.15	2	2	3	7/300						8/22	
6				安山岩		暗青灰			CM級岩盤 L=5～10cmの短柱状コアで採取する 亀裂面は暗褐色に風化変色している GL-6.20m付近は亀裂沿いに細礫～土砂化している	8/24 7.70		7	5.45												
7	101.00	7.65																						
8				安山岩		青灰褐			CL級岩盤 径5cm以下の岩片状～礫状コアで採取する 亀裂沿いは暗褐色に変色し土砂化している														8/23	
9	99.65	9.00																					8/24	
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								